
研修会レポート

磐田市教育委員会様

デジ探360

～デジタル×探究トレーニング～

2023年8月2日(水)実施

SUNReality

■ 研修概要

特別
研修

教育機関名：磐田市教育委員会

実施日：2023年8月2日

目的：デジタル×探究

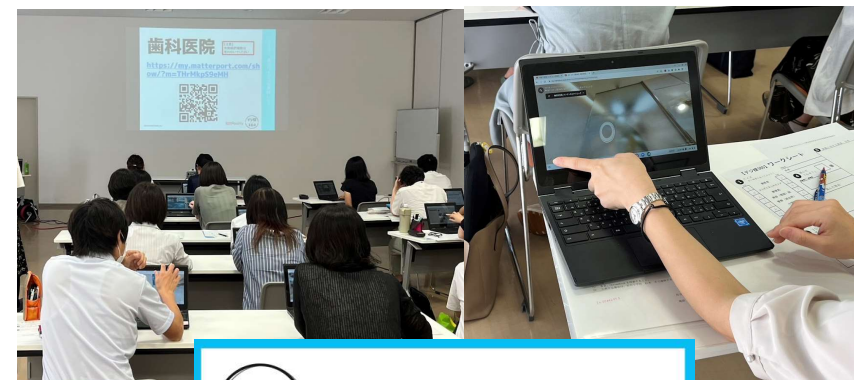
対象：学校事務部34名

前半

『児童・生徒たちが活躍をする未来を想像しワクワクしましょう』と題し、デジタルテクノロジーを身近に感じていただきながら、教育現場にどのように活用されていくのか、児童生徒の未来を想像しながら、先生方にもワクワクしていただけるようなデジタルテクノロジーについて理解を深めていただきました。

後半

デジ探360ベンチャー（株式会社SUN Reality）の3D空間を使い、デジ探360の体験会を実施！探究をデジタルの切り口で学ぶことで、視覚的にわかりやすく、楽しみながら探究学習を実施しました。グループワークにも取り組んでいただき、積極的な意見交換が見られ、未来の教育に対する考えを共有していただきました。



特別研修

～未来の教育現場を想像し創造しましょう

株式会社SUN Reality
デジ探360～デジタル×探究トレーニング～

■ デジ探360とは？



教育機関向け学習プログラム

デジ探360

～デジタル×探究トレーニング～

タブレット・パソコン・スマートフォンからアクセスし、働く現場の3D空間内で探究活動を行うことができるZ世代へ向けた新感覚の学習プログラム。

3D空間内には、その会社の事業内容や課題などが『タグ』として設置されています。「なぜタグ」と呼ばれる問いを立てるヒントのタグを宝探しのように見つけ、自分が興味のある問いに対して探究サイクルを一巡するプログラムです。

プログラムの特徴

- ①テクノロジーは子どもたちの好奇心を刺激する手段に！
- ②企業や組織団体にご協力いただき、
学校の費用負担と先生方の時間負担を軽減！
- ③発展的な探究学習にも対応！



② 探究サイクル【問いを立てる】

「なぜ？」というタグを配置し探究につながる動機づけを促します。空間そのものと「探究タグ」の中の情報から、もっと知りたい情報（＝問い）を見つけていきます。

- 自分が気になることは何か
- 何を不思議だと感じるか
- 不便または不都合だと思うことがあるか
- どんな問題が存在するか



探究空間【体験版】



- ・生徒たちのワクワク・ドキドキを刺激する探究コンテンツ (教材)
- ・先生方が気軽に使ってみてみたいと思えるコンテンツ (教材) と提供方法
- ・探究活動そのものが学校の魅力発信 (募集活動) や地域理解につながる仕掛けづくり

『デジ探360』で使用する3D空間について

3Dの模型データを作成する特殊なカメラで撮影することで、360度自由な角度から俯瞰的に空間を見ることができる技術を使用します。データはクラウドで保管し、ブラウザで簡単に、いつでも、どこでも、何度でも、空間にお入りいただけます。

- 【ポイント】
- ・児童生徒の視点で空間を見て回れる
 - ・URLで簡単にアクセス可能
 - ・4K画質で鮮明な映像

ご用意いただくもの

① パソコン・タブレット

ネットワーク環境が強い場合は一人一台、不安定な場合は班で一台ご利用いただけます。番外編で「編集」する場合は、メールアドレスが必要です。

② インターネット環境

インターネット環境にアクセスできる状態が必要です。推奨ネットワークスピード：上り下り 10Mbps以上
測定サイト (参照) : <https://fast.com/ja/>
※同時接続の状況もご確認ください
※セキュリティ状況によりポート開放等が必要です

授業について

・オンラインまたは対面どちらでも可能です

生徒にはワークシート、教員には授業シラバス・トークスクリプトをご用意いたします。

・STEP 2・番外編については個別相談を承ります

平面図 (フロアマップ)



空間見本 (歯科医院)

立体空間



空間見本 (レストランエディン)

空間移動 (ウォークスルー)



© 2022 SUN Reality inc. 6

『デジ探360』の特徴

これらの空間に「探究」の仕掛けをちりばめます

Z世代 (映像世代) である今を生き、未来を担う子どもたちの学習効果を最大限に高めるものにした
そんな想いを持って、2年の年月をかけて開発いたしました。

01

3D空間とは？【導入】

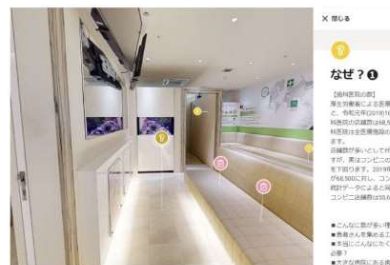


歯科医院 旅館 ウェディング

一つの3D空間を先生のファシリテートの元、全員で探します。クイズで空間への興味関心を引き出し、まるでするように3D空間を自由に散策します。

02

探究サイクル【問いを立てる】



「なぜ？」というタグを配置し探究につながる動機づけ。空間とタグの情報から、もっと知りたい情報（＝見つけていきます。

03

探究サイクル【仮説・調査】



ワークシートを用いて、仮説を立てます。個人ワークが終了したら、グループまたはクラスで話し合いの時間を設け、見ていた空間とそれに対する問いと仮説を共有します。

探究への入口『STEP1』

04

探究サイクル【発表】



「どこ」を見て問いを立てたのか、点での情報収集ではなく、現場（＝3D空間）を見た上での探究学習となるため、より具体的な発表・まとめが期待できます。



デジ探360 サービスサイト

ワークシート（例）



授業進行時の
補助スライド
(PowerPoint)



児童生徒用の
ワークシート



3D空間
(URLまたはQRコード)



授業シラバス
(PDF)

先生方が安心して授業を進めて頂けるよう、
授業コンテンツ毎にツールをご用意しています。
※先生によるアレンジももちろん可能です。




デジ探360 サービスサイト

010

【デジ探360】ワークシート

1 探究テーマ クラス： _____ 出席番号： _____

氏名： _____



2 クイズ 選んだ「なぜ？」 番

教育旅行営業担当者の
仕事に○をしよう！

回答		正解
<input type="checkbox"/>	添乗	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	生徒指導	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	企画書作成	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	事業開発	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	職業講話	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	旅しおり作成	<input type="checkbox"/>


4 選んだ「なぜ？」 番

■■■■問い■■■■

5 選んだ理由

3 3D空間を見て気づいたこと

010



6 課題に対する調査・分析

7 課題に対する解決策
未来への宣言！

まとめ

発表を聞いた感想など

■ グループワークでの気づき

グループワーク

ベンチャー企業の3D空間を使い、探究学習を体験していただきました。
#01～#05の問いの中から一つ選び、同じ問いを選んだ方とディスカッションをしていただきました。



STEP 1 探究サイクルを実践しよう

日本ももっとチャレンジでき、失敗してもやり直しができる風土になると良いと思いました。

日本とアメリカでの教育の違いによる民族意識の差が、ベンチャー企業の数に大きく影響を及ぼしていると思われること。

デジタル化で安心な生活ができるようになる一方で、デジタルの管理の重要性が増すことを感じた。

#01 なぜ? ①
 在学中にも起業することができる時代になりました。なぜこんなにベンチャー企業が増えたのでしょうか?
大企業系ベンチャーについては、2022年度は77社から2023年度は154社にまで増えました(経産省統計)。

#02 なぜ? ②
 ベンチャー企業で働くメリット、デメリットをそれぞれ考え、自分が働くとしたら・・・を想像してみよう!

#03 なぜ? ③
 事業が成功する秘訣を商品開発や、多くの人に知ってもらう方法から考えてみましょう。

#04 なぜ? ④
 テクノロジーと人間が共存する社会ってどんな未来? 身近にあるテクノロジーから考えてみましょう。

#05 なぜ? ⑤
 なぜ日本では起業する人が少なく、アメリカでは多いのでしょうか? 色々な角度から考えてみましょう。

ベンチャー企業とその他のいわゆる終身雇用を前提とする企業にはそれぞれ一長一短があり、どちらが悪いというわけではないということ。

受け身の学習をしてきた世代なので、自分でテーマを決め調べるといことに慣れていないと思い知らされました。

日本では起業が少ないとのこと、5番を選んだ人たちの多さから理由の一端を垣間見た。

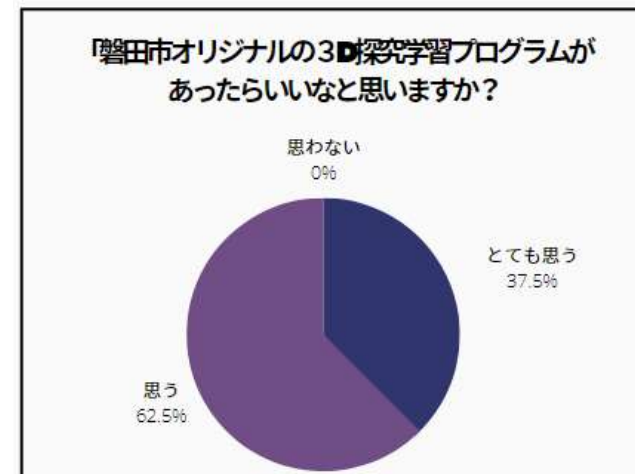
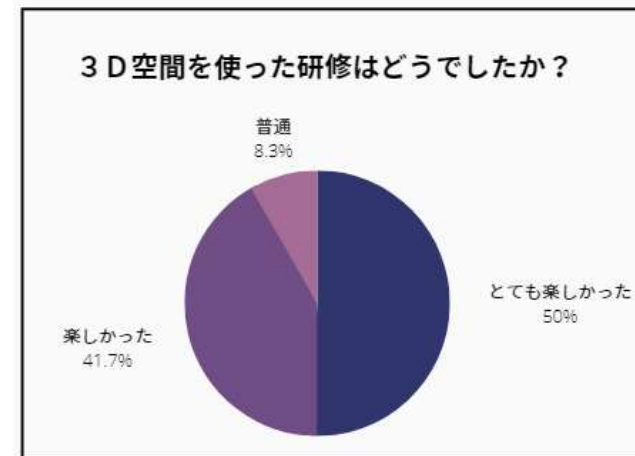
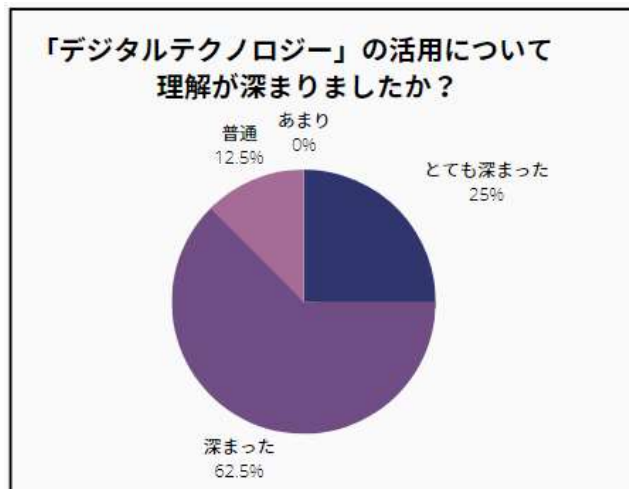
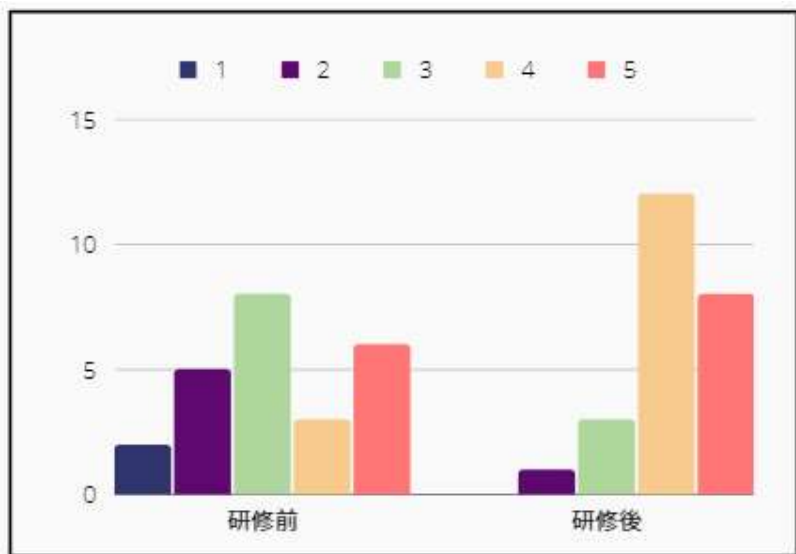


■ 研修アンケート

【研修アンケート】回答24名

2023年8月2日 磐田市教育委員会様 教員研修

「デジタルテクノロジー」への興味・関心度について



80%の先生方が「3D空間を使った研修が楽しかった」と回答。研修を実施し、『**磐田市オリジナルの3D探究プログラムがあるといいと思われませんか？**』という質問に対し、「**とても思う**」「**思う**」と回答された先生は**100%**という結果になりました。

研修前と研修後の「デジタルテクノロジー」への興味・関心度のアンケート結果です。「デジタルテクノロジー」への興味関心は個々にバラつきがあったものの、研修後の興味関心が全体的に高くなったことがわかります。

【研修アンケート】回答24名

2023年8月2日 磐田市教育委員会様 教員研修

「デジ探360」はARCSモデルに基づきプログラムの設計をしています。
 ARCSモデルとは、教育工学・教育心理学者のジョン・ケラーにより提唱された、学ぶ意欲を向上・維持するために教える側がとるべきポイントを整理したフレームワークです。
 「注意喚起 (Attention)」「関連性 (Relevance)」「自信 (Confidence)」「満足感 (Satisfaction)」の4つに分類されており、それぞれの頭文字から「ARCS (アークス)」と呼ばれています。今回の学習構成は「ワクワクすること」を軸にARCSの4つの工夫を散りばめながら設計しました。

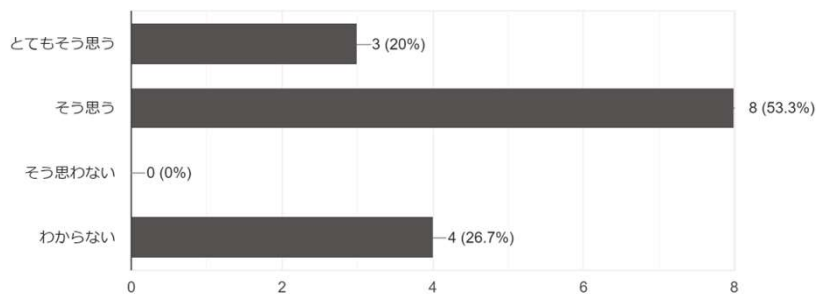
デジ探360を体験していただいた後、テクノロジーについて意見交換をしていただく予定でしたが、時間がおおしてしまい議論できずに終了しました。

【テーマ例1】デジタルは使い方によってはとても危険。最近話題の生成型AI (チャットGPT) は大丈夫？

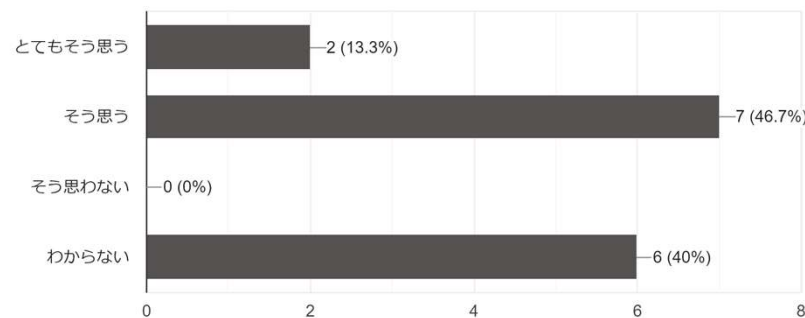
【テーマ例2】デジタルは児童・生徒の成長に活用する手段。守り (メンタルヘルス) にも使えない？

意見交換のテーマ例についてもアンケートを実施いたしました。

「生成型AI (チャットGPT)」は教育に活かされると思いますか？



児童生徒のメンタルヘルスの分野にもデジタルテクノロジーが活用できると思いますか？



教科・科目以外にも、学校現場でデジタルテクノロジーを活用したソリューションの可能性を見出していた先生方もいらっしゃる一方で、必要なものを正しく選択し、全員が正しく使えるような仕組み作りも必要だというご意見もありました。

研修の感想

【アンケート設問】
研修全般の感想を教えてください。
(デジ探360の感想、テーマ設定など)

どんな内容の研修になるかと思っていおましたが、とても興味深く聞くことができました。これからのDXの活用が楽しみです。

生徒の視点で実際に研修に参加してみて、常に主体的に活動できるととてもいい研修だと感じた。キャリア教育とともに、話し合いを通してプレゼンカやコミュニケーションカも身に着けられるなど感じた。学校事務という仕事も今後クリエイティブな発想が求められてくると思うので、その心づもりもできた。

「こうなったらいいな」や「こんなものがあると便利だな」といったアイデアを生み出す柔軟な考えは、小中学生の方が斬新なアイデアを生み出せると聞き、子どもから学ぶという意識や姿勢をもつことも重要であると感じることができた。

今回は歯科医・ベンチャーが研修資料でしたが、磐田市内の施設だとより楽しいと思いました。

日常が忙しく、新しい学びを取り入れることができてない現状で、新しいことに触れることができると新鮮な気持ちになりました。苦手な分野ではありますが、今後どんどん進化していくところではあるので、もっと触れる機会があるといいなと思います。とても楽しいお話と研修でした。ありがとうございました。

デジ探360を研修始まるまで全く知らなかったですが、クオリティの高さに非常に驚きました。学習教材として非常に面白かったです。

研修自体はとても楽しかったですが、難しいとも感じました。

事務は「こうしなければいけない」「事務処理は正確でなければいけない」と今まで勤めてきてガチガチの頭になってしまっていると改めて思いました。正解なんてない、考えたり、感じたりして探究する作業はとても新鮮で面白かったです。こんなにいろいろなことが発達していると自分の存在意義について自信がもてなくなってしまいそうな勢いですが、ほどよい距離感で付き合っていけたら良いと思います。

3D空間を使って自由に施設の中をみていると、実際にその場に行った気になれてワクワクしました。また、その中の空間にいくつかのポイントがあり、探しながら課題を解いたり、考えたりするのは宝探しをしているみたいでした。ありがとうございました。

子どもたちの学習や、未来が垣間見ることが出来て良かったです。もう必須のものだと理解できますが、経験して五感で感じる、本を読んで感じる、苦勞して自分で考えて切り拓くこと等をどう育てるのかとも思いました。社長さんの説明は大変分かりやすく興味が持てました。委員の皆さんありがとうございました。

たくさんのご意見ご感想、ありがとうございました！

■ 弊社の教育活動実績

取組み内容

- 1 メタバース、バーチャルクラスルーム360といった教育のデジタルプラットフォームの提供
- 2 子どもたちのワクワク・ドキドキを醸成する2D・3D映像コンテンツやフリーウォーク360といった3D空間コンテンツの開発・提供
- 3 キャリア教育プログラム、デジタルシティズンシッププログラム、SDGs教育、探究プログラム等の授業実施（講師・ファシリテーター）

EdTech成果報告レポートは
こちら



2021年度



2022年度



実績(教育活動)

- 2020年
- バーチャル修学旅行 企画実施(京都・奈良編)
*東京都練馬区中学校への一括採択
*全国15,000名を超える児童生徒が体験
 - 地域未来構想20「教育」「スポーツ」分野に参画
 - 株式会社JTBと業務提携契約
- 2021年
- バーチャルクラスルーム360 リリース
 - バーチャル修学旅行 企画実施(日光編)
 - 2021年度IT導入支援事業者に認定
 - 2021年度EdTech事業者として採択*協力校5校との取組み実践
 - 株式会社JTB主催「第3回次世代教育フォーラム」登壇
 - SDGsを学ぼうシリーズ(事前学習モデル)
 - DXを学ぼうシリーズ(座学・企業実践・グループワーク・発表=探究モデル)
- 2022年
- バーチャル修学旅行 企画実施(沖縄編)
 - 2022年度IT導入支援事業者に認定
 - 2022年度EdTech事業者として採択*協力校5校との取組み実践
 - 埼玉DXパートナー認定
 - SDGs官民連携プラットフォームに参画
 - Free Walk360 リリース(3D空間制作&販促サポートプログラム)
 - 岡山学芸館(DX探究)*2年目の取組み
 - 青稜中学・高等学校(企業実践・SDGs教育)*2年目の取組み
- 2023年
- 志木市いろは遊学館 高齢者向けVR旅行講座実施
 - デジ探360(デジタンサンロクマル)リリース
 - 磐田市教育委員会主催の「探究的な学び研究会」の委員に就任
 - 2023年度探究的な学び支援補助金の事業者・プログラムに認定

■ 会社概要

社名	株式会社SUN Reality (サンリアリティ)
本社所在地	〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2丁目3-1 岩波書店アネックス3F
代表取締役社長	西條 康介
設立	2020年3月26日
資本金	500万円
売上高	3920万円
代表電話	03-6364-6488
URL	https://sunreality.jp
主要取引先	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社JTB ・株式会社JTBコミュニケーションデザイン ・株式会社マイナビ ・株式会社ぶろべら ・株式会社FCEエデュケーション ・その他(教育委員会、学校法人)

C CREATIVE
クリエイティブ

こんなことできないかな、あんなこといいな、こういうことをやりたいな・・・
お客様の「やりたい!」「やってみたい!」という見えないものをカタチにするのが得意です。もちろん、顕在化していない課題の掘り起こしも一緒に行います。



D DIRECTION
ディレクション

課題が明確化したら、解決のためのご提案をいたします。
我々の強みは、最適なテクノロジーを組み合わせ、オーダーメイドの解決部隊を編成できること。解決部隊の指揮はお任せください。
お客様の抱え込んでいる課題も共にクリアいたします。

私たちは「モノ」ではなく「価値」や「効果」を提供します

C CONSULTING
コンサルティング



弊社は、継続的にご依頼をいただくことが非常に多いのが特徴です。「価値」を実感していただくと同時に、何でも相談できるパートナーとして伴走することを使命としています。
困った時に一番に浮かぶ顔になりたいと思っています。お客様とのつながりが我々の原動力です。



SUNReality

【お問合せ】
株式会社SUN Reality
企画サポートセンター

TEL:03-6364-6448
(9:30~17:30)
メールアドレス: info@sunreality.jp

定休日: 土・日・祝日 12/30-1/3

デジ探 360

子どもたちのワクワクを育む!

デジタル×探究の新しい学習プログラム

デジ探360 ▶ デジタル×探究トレーニング



デジ探360



会社HP